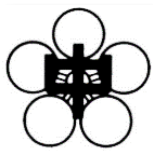


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



# 輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校  
学校だより  
令和2年度 第 11号  
令和2年9月29日  
校長 水谷 智子

## 新しい日常の中で ～変化への挑戦～

ウィズコロナの生活も半年を過ぎ、『新しい日常』が当たり前の風景になってきました。毎日の検温・消毒、体育着での登校、授業中のマスク着用、給食は前を向いて黙々と食べる、大声を出さずに静かに過ごす、部活動の練習は平日 1 時間、距離をとってのグループ活動……。最初は違和感を覚えました。今ではそれが当たり前の光景になりました。ヒトとは慣れる動物だということをも再認識します。

思い起こせば昨年9月。熱中症の心配をしながらも、夏休み明けから運動会練習を始め、当日は雨の心配をしながら運動会を決行しました。色別対抗走り綱引きや全校大江戸ダンスなど、全校生徒が一つになって大いに盛り上がりました。運動会練習や部活動練習で疲れていても、授業には集中して取り組むというのが“加賀中生のあるべき姿”です。そうは言っても、学習と行事の両方に注力するのは、体力的にも時間的にもなかなか大変なことでした。

けれども、今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、運動会が中止になりました。授業カットもなく、時間割通りに日々の授業が行われ、例年になく、落ち着いて学習に取り組んでいた9月だったように感じます。「必要以上に大きな声を出さない」ということも、落ち着いた学校生活の一因です。刺激に敏感な生徒にとっては、生活雑音や他人の大声がとても気になります。マスク着用で余計なおしゃべりをしないので、教員の声のトーンも控えめになりました。生徒たちは、必要な情報をしっかりと聞き取り、静かな環境の中で、じっくり考える時間を持てるようになりました。

また、体育委員会を中心に、運動会に替わる『新しい取組を創り出す』ということにも挑戦しました。『感染防止』という大前提の上に、みんなで楽しめる新しい取組を創り出すには、様々な創意工夫が必要です。考えてきたアイデアを互いに持ち寄り、仲間と議論しながら試行錯誤して一つの企画を練り上げていくという過程は、何より、『思考力・判断力・表現力』を高める学びになりました。“限界を突破する”には、とことん考え抜くことが求められます。しかし、限界を突破することができれば、それは生徒たちにとって大きな自信になります。成功体験を積むことで、自信が持てるようになり、可能性が広がっていく。これも、新型コロナで『前例踏襲』の縛りがなくなったからこそ生まれた『成果』の一つと言えるでしょう。

このように、新型コロナ感染症は、生徒たちの学校生活にとって、プラスに作用した面もありました。新型コロナ感染症と共に在る日々はこれからも続くでしょう。制約の多い不自由な生活が続いていくかもしれませんが、そのような負の側面ばかりに目を向けるのではなく、ポジティブに捉えることが、新たな展開につながっていくのだと思います。さらに、これからは、GIGAスクール構想により「一人一台タブレット端末」と「高速大容量の通信ネットワーク」が整備され、子供たちの学習が変わっていきます。社会全体で、Society5.0を生き抜く力を身に付けさせなくてはなりません。

今、『変化できる者』として、新しい時代に生き残るための挑戦が始まっています。「ピンチはチャンス！」 変わることを恐れず、挑戦していきましょう。

## ◎土曜授業フランチ学校公開

9月19日(土)に、今年度初めての土曜授業公開を行いました。密を避けるために、お子様の出席番号(偶数・奇数)による時間指定(保護者名札着用)や、在校時間1時間以内、廊下からの参観等、感染症対応策へのご協力をお願いしました。

また、参観後のアンケートも、用紙に記入していただく形を改め、QRコードからアンケートフォームを読み込んで送信していただく形に変更しています。

当日は、約100名の保護者の方にご来校いただき、生徒



の学習の様子や学校の様子などを参観していただきました。特に、7年(中1生)の保護者様にとっては、お子様の中学校入学以来、初めての授業公開ということで、関心も高かったようです。今後も月1回程度の公開日を設けていく予定ですが、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせた対応策をとりながらの公開になりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

## ◎PTA活動始動!

9月19日(土)の午前中、PTAの各委員会、運営委員会が行われました。今年度は、学校行事等も例年通りに実施できないため、PTA活動についても例年並みの活動ができません。そんな中でも、できる形でのご協力をいただいています。

PTAの委員や役員の皆様には、PTA活動を通して、家庭や地域での



子供たちの様子や会員の皆様の学校への要望等をお知らせいただくと幸いです。また、PTA活動等でご来校される際には、生徒たちや学校の様子もご覧下さいようお願いいたします。

今年度も、“子供たちのために”を合い言葉に、加賀中学校へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

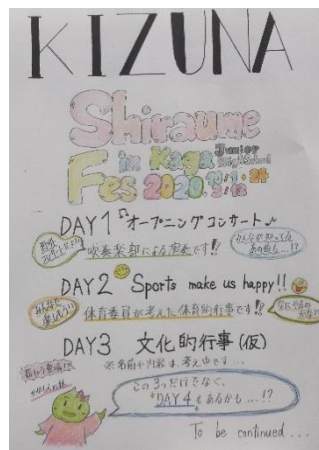
## ◎白梅 Fes 始動!!

10月から生徒会主催の『白梅 Fes』が始まります。1学期から皆の意見や要望を集約し、検討を重ねて、3つの取組を行うことになりました。

第1弾は、10月1日の吹奏楽部による“オープニングコンサート”。密を避けるため、野外でのコンサートになりますが、全校生徒が校庭に集まって、吹奏楽部の演奏を聴きます。さらに第2弾として、10月24日には、体育的行事“Sports make us happy!!”を行います。体育委員の人たちが“感染を防止しながら、みんなで楽しめるレク種目”を一生懸命考えました。これからルールや進行など具体的な内容の詳細を詰めていきます。第3弾の文化的行事については、内容は未定ですが、3月13日に行う予定です。

今週月曜日(28日)の生徒朝礼では、本部役員から“白梅 Fes”の告知がありました。カラフルなチラシも配られ、学校全体で盛り上げていこうという呼びかけが行われました。

今年度は全校生徒が集まる機会も少なくなっていますが、Fesを



通して生徒たちの一体感が生まれることも期待しています。そして、「コロナ禍においても楽しい学校生活を創り出そう!」と取り組んでいる皆の思いが天まで届き、青空の下でFesが成功するよう願っています。

この白梅 Fes は、例年の学校行事とは違い、保護者や地域の皆様には公開はいたしません。後日、何らかの形で生徒たちの様子をご覧いただくことを考えておりますので、ご了承ください。

### \*\*\*お知らせ\*\*\*

- ・理科の若林佳子主任教諭が産休に入り、代替として10月3日より島村優希教諭が着任します。
- ・教職大学院生の仲摩泰範さんの専門実習は、10月から12月まで毎週水曜日に行います。
- ・9月から、SSS(スクールサポートスタッフ)として恒松友展さんが配置されました。消毒作業等、主に新型コロナウイルス感染症対応の支援をお願いしています。

“新しい日常”を踏まえた新企画の“白梅 Fes”。今こそ、加賀中生の底力を見せる時です。秋空の下、仲間と共に、最高の思い出を作りましょう。

